

Link “新風”

Vol.55
(通算 第148号)

梅雨入りの頃からすでに気温は夏日、真夏日の連続・・・
果たして夏本番はどうなるのでしょうか？
皆さん、例年にも増して、熱中症対策を万全にしてくださいね！



『ヤマモモ』

『今月の表紙』

会社の正門の脇にヤマモモの木があるのはご存知ですか？
毎年GW明けくらいから実を付け始め、6月中旬になると一斉に赤く染まります。
赤い実は甘酸っぱいため、ジャムやドリンク、果実酒などにすることが多いようですが、黒いくらいに熟したものは甘みがグンと増して美味しいです。
山に生え、桃のような見た目の実を付けることから「山桃」と名付けられましたが、桃とは全く別の種類の植物なんだとか。
ところで、赤い実と葉っぱの重なり合う姿が、赤武エンジのロゴのように見えませんか？

撮影日時：2013年6月17日

撮影場所：赤武エンジ正門脇

富士山世界遺産登録 おめでとう

いろいろな角度から見たり、聞いたり、触ったり、考えたりして、いつまでも美しい富士山を守っていききたいものです。私にとって富士山は、今までと違う存在になることは間違いありません。中学時代以来登っていないので、いつかは登ってみたいと思っています。



当社HPの『今月の富士山』もぜひご覧ください。

ファーストコールカンパニー

6月にタナベ経営が開催した「ファーストコールカンパニーフォーラム2013」に、若手社員3名が研修のために参加しました。そのレポートを読みましたが、いささか難しい言い回しの講演で戸惑ったかもしれませぬ。ファーストコールカンパニーとは「顧客が真っ先に思い出し、一番に声がかかる会社」であり、「100年先も一番に選ばれる会社」を目指している会社は、以下の5つの特性を追求しているとしています。

- ① 顧客価値を見つめる謙虚さと強みを磨く経営
- ② 企業ブランド・商品ブランド・技術ブランド・サービスブランド・人材ブランドの5つのブランド価値
- ③ 経常利益10%と無借金経営の財務体質
- ④ 自由闊達(かつたつ)に開発する組織
- ⑤ ころざしを時代へ継承する経営技術

永続発展へとつながり100年先も一番に選ばれる会社になるために、タナベ経営は以上の5つをファーストコールカンパニー宣言として提言するとしています。とてもよく理解できますし、着実に実践していきたいと思ひます。ただ平素は難しく考えずに、自然体で日々の活動の中でお客様に感謝・感動・感激を感じ取っていただくことが基本でしょう。

過去と他人は変えられない。ならば・・・

これも若手2名が参加した講演会の報告として紹介します。日本粉体工業技術協会が主催しました「営業・管理部門の若手の集い」の中で、「メジャーリーグに学ぶ経営戦略～勝つための組織と人材育成～」と題した、スポーツアナリストであるタック川本氏の講演です。氏は、1943年東京生れ。メジャーリーグのロイヤルズのフロント、カナダのエクスポを経てロザンゼルス・エンゼルスに国際編成に移籍。現在は日米で国際ビジネス&スポーツアナリスト、講演家、著述者としてテレビ、ラジオ、講演会など幅広く活躍中とのこと。

- ① 新人や若手はゼロからのスタートであり、勝ち組になるにはどうしたら良いかを常に考える。
- ② 過去と他人は変えることはできない。ならば未来と自分を変えることが重要である。
- ③ 自分自身の才能は自分で見つけ、結果を残さなくては意味がない。
- ④ 同チーム内ではライバルや敵と見なさず、仲間として見ることで皆が共に成長できる考え方がある。
- ⑤ エンゼルスの座右の銘として、「ものをなくせば小さいものを失う、信用をなくせば大きなものを失う、勇気をなくせば全てを失う」という文言がある。

上記5つの要点の報告がありました。報告者の結びとして、「エンゼルスの座右の銘にあるように勇気を失わないように精進していきたいと思ひます。」

以上 営業部 H君の報告でした。

東日本大震災

私どもは、日々の暮らしの中ですれれば風化しがちな東日本大震災を忘れてはならない義務があります。そのためには、当時の惨状を極める写真や映像を時々見て頭に叩き込んでおくことが大事かと思ひます。しなければならぬこと、やっではいけないことを改めて認識すべきでしょう。

静岡県が先日(6月27日)発表した第4次地震被害想定によると、駿河・南海トラフ沿いで死者が最悪10万5000人、そのうち津波による死者が9万6000人。相模トラフ沿いの地震では死者が6000人となっています。その記事に無関心だった人はもう一度あの「3.11」を思い返して欲しいものです。いつ発生するかわからないからこそ準備が大切だと思ひます。



ご安全に！

社長 赤堀肇紀

体力測定

全体実施日 : 2013. 5.17
 実施目的 : 現在の自分の体力を知ること
 実施人数 : 80名 (2013. 6.24現在)



① 閉眼片足立ち



90秒以上 : 10名

② 踏み台昇降



1位 拍数:26
 2位 拍数:40
 3位 拍数:43

③ 立位体前屈



1位 24cm
 2位 21cm
 3位 18cm

④ 腕立て伏せ



50回以上 : 11名

⑤ 座位足開閉



1位 30回
 2位 29回
 3位 27回

⑥ シャガみ跳び



1位 34回
 2位 30回
 3位 28回



☆☆☆☆ 総合得点 (最高30点) ☆☆☆☆

1位 27点 : 1名

2位 25点 : 2名

3位 24点 : 4名

今回初めての試みでしたが、体力測定を実施しました。
 目的は現在の自分の体力を知ることですが、それに加えて、これを機に運動を始めるキッカケとなれば
 良いなと思っています。設営するメンバーはかなりの時間とエネルギーが必要ですが、健康診断と
 同レベルの行事として毎年定例にしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

安全管理室室長 白鳥

+ 献血

実施日: 2013年 6月19日
 献血受付数 : 14人
 献血できた人数 : 12人 (400mL)



ご協力
 ありがとうございます!





今回は、左記の粉体・友の会がどのような経緯で発足したのか、当時を振り返ってみましょう。



粉体・友の会は、株式会社経営総合の中村先生の勧めで、「お互いに学び合い相互啓発し、技術・技能を高め合い、更により良い人間関係を築き、お互いの事業の発展を目指していくこと」を理念に、当社の協力会社様を会員として発足しました。

活動開始は2000年11月22日、当初は19社でスタートし、現在では数社の増減を経て18社が会員となっております。(2013年5月現在)

発足当時の運営要領には、活動内容として下記の8項目が記されております。

- (1) 新しい技術知識の勉強会
- (2) 一般社会、経済の勉強会
- (3) その他 各種の勉強会
- (4) 赤武エンジニアリングの現況報告
- (5) 赤武エンジニアリングの営業情報の提供
- (6) 会員相互の親睦交流会の開催
- (7) 「粉体・友の会」メンバーの意見交換
- (8) その他 理念に合致する活動

活動は年2回行うこととされ、これまでに各種勉強会、意見交換会、懇親会、研修会(工場見学)、ゴルフコンペなどが開催されてきました。

ここ数年は活動が不定期になり、今回の第19回を行うまでには3年空いてしまいましたが、当社と協力会社様を繋ぐ重要な会であることは間違いなく、今後の活動について赤堀社長は下記の方針も示されております。

- ・BCP(事業継続計画)などを踏まえた“安全”、“安心”に関しても相互理解を深めていきたい。
- ・地域の発展に寄与したい。



発足当初の理念を忘れることなく、また新たなる方針を指標に、お互いの相乗効果が生まれるような交流を推し進めていくことが、粉体・友の会の未来への“ルーツ”ではないでしょうか。



災害に関する話をする時、よく耳にするものの1つに「ハインリッヒの法則」があります。有名なので知っている方も多いのではないのでしょうか？

「1つの重大事故の背後には、29件の軽傷を伴う災害が起きており、300件ものヒヤリ・ハットした傷害のない災害が起きていたことになる。さらに、幾千件もの“不安全行動”と“不安全状態”が存在している」つまり、小さなリスクを見逃すとやがて大きなトラブルにつながる、ということを経験化したものです。

またこれに関連する法則として、下記の2つがあります。

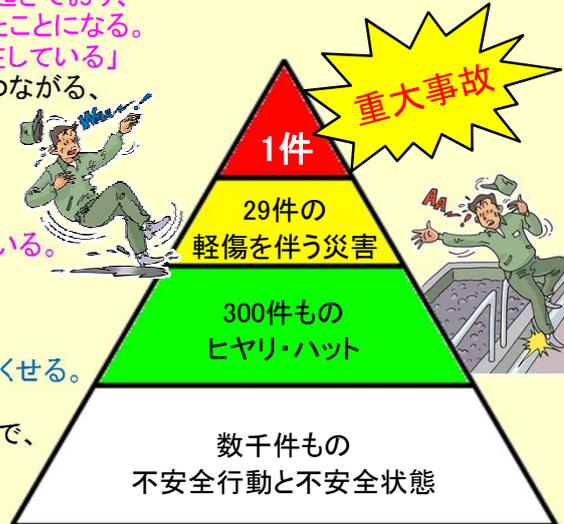
- ・災害の98%は予防可能である。
- ・不安全行動は不安全状態の約9倍の頻度で出現している。

これらの法則を逆説的に捉えると、

- ・事故(アクシデント)を防げば、災害はなくせる。
- ・不安全行動と不安全状態をなくせば、事故も災害もなくせる。

ということが言えます。

不安全行動は不安全状態の約9倍の頻度ということなので、まずは**不安全行動をしないことが災害をなくすための最優先事項**と言い換えて差し支えないでしょう。



安全に対する意識を高め、災害ゼロの職場を目指していきましょう。ご安全に！

【定義】

- 不安全行動・・・本人または他人の安全を阻害する可能性のある行動を**意図的**に行うこと。
- 不安全状態・・・事故を起こしそうな状態のこと。(例えば、足場の未固定、柵のない開口部など)